

第2回稲敷市学校及び幼稚園適正配置検討委員会会議録

日にち：2007年9月21日（金）
場 所：稲敷市新利根庁舎会議室
時 間：午後6時30分～
出席者：28名
欠席者：2名

1. 開会

事務局

皆様方には大変お忙しい中、夜分ということでございましてお疲れの中ご出席いただきまして大変ご苦労様でございます。それでは、定刻でございますので、ただいまから「第2回稲敷市学校及び幼稚園適正配置検討委員会」を始めさせていただきますと思います。開会に当たりまして堀口会長よりご挨拶を頂戴いたします。

2. 会長あいさつ

会長

本日は明日彼岸の中日を迎えて何かとお忙しいところ、金曜日で本来なら家族サービスなどの時間で夜ではない方がいいのかなと思っている方もいるかと思いますが、話の中で夜ではなく昼の会議にという話が出たら出たでまた考えますので、皆様にはご意見を賜りながら本会を進めていきたいと思っております。

第2回の会議となりました。非常に前段も申し上げましたけれど、非常にシビアな問題であります。そういう意味では皆様のご議論をたくさん醸しながら、一緒に忌憚のないご意見を賜りながら、諮問されております案件に対して答申を出したいという風に思っておりますので、どうぞよろしく活発な論議が出来ますことを前段申し上げまして、ご挨拶に代えたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

事務局

ありがとうございました。それでは続きまして小川教育長よりご挨拶をいたします。

3. 教育長あいさつ

教育長

ご苦労様でございます。第2回目の委員会、大変お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。この間ある委員さんから、「学校を統合してよかったかどうか」という財務省が調査した資料をいただきました。それを見ますと、学校統合で判断した全国の公立小中学校220校余りを調査した結果だそうです。保護者と児童生徒の結果をみまずと受け止め方として「統合してよかった」と

という回答が 63.1%、「わからない」というのが 24.5%、「よくなかった」が 12.4%という風になっている結果が出ています。よかった理由として挙がったのは「友達がたくさん出来る」それが 54.5%です。逆に統合して困った点「通学距離が多くなった」というのが 22.4%、「友達の家が遠くなった」というのが 23.6%という様な事で、設置者側としては、適正規模での教育が可能になったという風な事が出ているのです。デメリットも出ているようなのですが、色々な面からこれから皆様方にご検討いただいて、稲敷市の学校が、適正ないい方向で行ければいいなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

事務局

ありがとうございました。小川教育長につきましては、今回の諮問者という事でございますので、会議につきましては、ご挨拶の後退席をさせていただきますので、よろしくお願をしたいと思えます。なお協議の中で、ぜひ教育長に伺いたいというような事案もあろうかと思えますけれど、その場合にはお話を伺いまして、次回の会議の中でご回答をさせていただくという形にさせていただきますので、ご了解の方お願いたします。よろしくお願いたします。

4. 協議事項

1) アンケート調査について

事務局

それでは早速でございますが、協議事項の方に入らせていただきたいと思います。規則第 6 条の規程によりまして、堀口会長の議長によりまして進めて参りたいと思えますので、よろしくお願をいたします。

会長

今の教育長、諮問者でありますけれども、一步踏み込んだご意見をいただきましけれども、早速協議事項に入りたいと思えます。まず、「アンケート調査について」を議題といたします。事務局の方に説明をいただきます。

事務局

お配りさせていただきました資料に基づきまして、説明の方をさせていただきますと思えます。まず、その前に資料の方確認をさせていただきますと思えます。会議次第の他に「小中学校・幼稚園の適正配置等についてのアンケート調査について」というのが、1 頁から 6 頁まで、その他に参考資料までが、アンケート調査につきましての事務局案の資料でございます。その次の「地域別人口推計・分析結果」とございますが、これは分析結果に基づく事務局案の資料になります。1 頁から 5 頁までが分析結果の資料でございます。6 頁の資料でございますが各小学校区の児童一人当たりの年間経費という資料でございます。次に「分析結果(考察)」1 頁から 4 頁までですが、これは人口推計等の分析に基づいた事務局としての今後の適正配置に関する考察という事で、たたき台としてご議論をいただきたいという風に思っております。

それでは、アンケート調査につきましてご説明させていただきますと思えます。

会長

ちょっとよろしいですか。簡単な自己紹介とはいかないでしょうが、2 回目なので、今日始めて参

加したという方もいらっしゃると思いますから、事務局の方から紹介してもらってよろしいですか。

- 事務局より委員の紹介 -

会長

ありがとうございました。よろしくお願いたします。

事務局

早速アンケート調査についてご説明、ご提案をさせていただきます。まず、保護者の皆様方に対するアンケート調査ということで、前回はご議論をいただきました。事務局の方から年齢別・地域別にランダムに千人位からサンプルを取って、保護者の皆様の意向を確認したいというようなご提案をさせていただいた所でございますが、事務局内でその後検討をさせていただきまして、こういった形でという事で、本日ちょっと別な形でご提案をさせていただきたいという風に思っております。その案でございますが、1頁にございますように保護者各位という事で、適正委員会の名前をもって各幼稚園・小学校・中学校の保護者の皆様に対して全員に、子どもさんを通してアンケートを依頼して回収をするというような、変更をさせていただいてはというご提案でございます。なぜそうしたのかというのは、なるべく多くのご意見をお伺いしたいというのと、適正配置がこういった形で進められている、また市としても検討に着手したという周知の意味も含めて、なるべく多くの方、それから回収率というのを考えますと、より多くのサンプルが集まるという様な事でございます。各学校を通して保護者の皆様全員からアンケートの方を取りたいという風に考えてございます。なお、この説明の後ご議論いただきたいという風に思っておりますが、前回はご提案をいただきました、児童からもアンケートを取ったらどうかというようなご意見がございました。それにつきましては、2案程事務局方で考えてございます。まず第1案は、この保護者の皆様に対するアンケート用紙をそのまま中学校3年生のみにご回答をいただくという方法、第2案、学校の先生方それから児童に対してこの保護者のものとは全く別個のアンケートを後日徴収するような形を考えるという2案をご提案をさせていただいて、説明の後ご議論をいただきたいという風に思っております。

今回保護者の皆様に行うアンケートにつきまして、若干ご説明させていただきます。資料の1頁の方でございますが、アンケートの調査依頼文でございます。2頁をお開きいただきたいと思います。2頁の方でございますが、現在の児童生徒・園児数等の現状としてこちらに提示させていただくと、5月1日現在の児童生徒・園児数をこういった表でお知らせをすると、学校を通して10月30日を目安に回収をする、というような運びでアンケートを徴収したいという風に思っております。次の3頁をお開きいただきたいと思います。ここからが、保護者の皆様にご回答をいただく質問と回答の案でございます。問1では国の学校規模の標準に対する保護者の皆様の現在の考え方を1から4の中でお選びくださいというような質問が問い1でございます。問2につきましては、小中学校の望ましい規模について問1の選択肢のように判断されるのはどのような理由からですかという様な、問1で付けたものの理由をこちらで選択をいただくというものが問2でございます。4頁をお開きいただきたいと思います。問3でございますが、幼稚園・小学校・中学校の園児・児童・生徒の減少という現状について、どういったお考えをお持ちかというのがそれぞれ幼稚園・小学校・中学校という形で選択をいただくというものが問3でございます。5頁をお開きいただきたいと思います。問4でございます。幼稚園・小学校・中学校の規模が縮小してきている現状への対応策についてどのようなお考えがございませうか、というのが問4でございます。続きまして問5でございますが、小中学校(園)の配置についての基本的な考え方、どのようなお考えがございませうかというのが問5でございます。それぞれ1から4の中からお選びいただくと、最後に自由な意見を申し述べていただくというよ

うな形で、それぞれ現在の保護者の皆様にこのアンケート用紙でご意見を賜るといような形をとらせていただいているという事事務局の案でございます。なお、一般の方現在子どもを持っていない方にも参画をいただけるように、市のホームページを通して各公共施設、市役所の総合窓口であるとか、公民館等には事前にこちらのアンケート用紙を配布しておいて、自由にアンケートに参画できるという扱いをどうかというように考えてございます。

冒頭申し上げましたように、まず前回申し述べました郵送方式による回収ではなくて、学校を通した保護者の皆様にアンケートをご協力いただくという方法でよろしいか、それと児童に対するアンケートにつきましては、こちらのアンケート用紙で中学校3年生のみでよろしいか、或いは別途また学校の先生方・児童を中心にアンケートを徴収するというような形をとらせていただくのがよろしいか、また別の方法があればご意見の方を賜りたいという風に思っております。

会長

一つだけ質問ですが、ランダムで千戸という部分で保護者の場合何戸なのですか。

事務局

現在の児童数。2頁にございます、小学校・中学校・幼稚園の数をすべて足した人数でございますので、保護者の方3千以上のサンプルがあるだろうという風に考えております。

会長

ダブっていますよね。一世帯、世帯で計算すると、まだ出るでしょう。小学校に子どもがいるでしょう、幼稚園に子どもいれば中間的に出すのですか、アンケートをそういう風に出すのですか。カテゴリー別に。

事務局

家庭によっては、そういう形になる可能性がございます。

会長

アンケートの方法、カテゴリーはどういう風にするのがいいか、事務局の方から提案がありましたが、皆さんにお諮りいたします。まず、当初ランダムで千戸位の家を無抽出で出そうといった、当初そうだったのでありますけれど、今の提案によりますと保護者、幼稚園・小学校・中学校に園児・児童・生徒を通して保護者の方々にアンケートを依頼してはどうかという話であります。まず、その部分から皆さんとの意見を交わしあいたいと思いますので、何かご意見がありましたら挙手をお願いいたします。

A委員

アンケートの内容ですけれど今日始めてみたので、ちょっと難しいかなと。全保護者を対象にすると保護者の理解度どれくらいかなと考えると経験的な感ですけれど、この文面の中身理解できる保護者は、うちの小学校では3割位かなあと7割位の方は理解できないという風な答え、あるいは回収できない。もうちょっと分かりやすい簡単なアンケートであればいいかと思うのですけれど、これだけの枚数あって、設問に対する答えをするのはちょっと厳しいのではないのかなと思われま。校長先生方に聞いていただいた方がいいかと思うのですけれど、保護者の理解度どの程度であるでしょうか。

会長

それは先生言いづらいのではないのでしょうか。

A 委員

と思うのですけれどいかがでしょうか。

会長

この設問はどこかに雛形があったのですか。これ独自でやってきたのですか。

事務局

独自ではございません。先進地の方、若干修正をさせていただいて作ったものでございます。

会長

今、質問の内容が難しすぎるのではないかという意見がありましたけれど、他の皆さんの意見はどうですか。

B 委員

今、理解度ということでお話がありましたけれど、私も今一箇所読んでいてどちらに判断していいか迷ったところがあるのですが、問い5の6頁(3)幼稚園・小学校・中学校がそれぞれの地域の文化の拠点、災害の際の避難場所、まちづくりの拠点でもある性格から考えて、それらを優先した学校(園)配置となるのはやむをえないというのは現状維持なのか、統廃合という事を考えているのか、どちらになるのか私ちょっと迷ったもので。

事務局

あくまでこの3番の回答でございますが、統廃合を進めるという意図がございます。文化の拠点、災害の際の避難場所というのは小学校・中学校区の中に統合をしていって拠点を作ろうというような意図でこちらの回答が書かれているという風に事務局としては考えております。

会長

内容が変われば保護者でもいいのかという論点から話がそれますけれど。内容が変われば保護者のみでやるという事について前提の意見。難しい内容を変えれば、保護者のみでいいのかということでお諮りしたいと思うのですよ。内容はこれからいくらでもあるのですが、内容を変える前提で保護者のみでいいのか話し合いにしたいと思うのですが。いかがですか。異論のある方は挙手してお願い申し上げます。

(挙手する委員なし)

会長

よろしいですか。回収率とか或いは当初千人にランダムだったのが、中身の濃い回答が得られるでしょうから、それはそれでとりあえず保護者のみのアンケートという方向に進めたいと思いますのでよろしく願いいたします。内容については、これから精査しながら話し合いを進めたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

一応保護者のみということで、とりあえず三千数名のアンケートを実施するわけでありませうけれど、それに付随して児童・生徒達にもある程度アンケートをとった方がいいのではないかと、実際第一に関わるのは児童・生徒達でありますからその中で、保護者にアンケートの内容で中学校3年生のみアンケートを実施するのか、若しくは先生と児童生徒別なアンケート、もっと噛み砕いたアンケートを別に用意して、別の角度からアンケートを実施するというような案があります。2案両方取ってもいいのではないかという意見や、どちらか一つ取った方がいいのではないかという意見もあります。それは皆さんのご議論であります。その事について、皆さんのご意見を賜ります。挙手をしてお願いいたします。何かご意見のある方、いかがですか。

C 委員

このアンケート中学3年生という事で先ほど提案があったのですが、3年生というと義務教育が終わりの学年であるのですよ。稲敷市で統廃合のアンケートをとったとしても、アンケートの回答を寄せた中学校3年生、全然自分達には関係のない事柄になってしまうと思うのですよね。恐らく3年生が在学している間に統廃合になることは、恐らくありえないでしょうから。そうなるという言葉悪いかももしれないですけど、いい加減なアンケートの結果になってしまうのではないかという風な心配が一つと、私としてはそんな風にちょっと思いました。例えば幼稚園生だとか小学校低学年にこのアンケートをとろうと思うとなかなか難しいと。だから子ども達全体というのは恐らく無理でしょうから、実施するとすれば、例えば小学校5・6年生とか中学校1年生位が妥当なのではないかなと、私はちょっと思いました。ただ、内容的には我々保護者であっても頭をひねるような質問内容となっておりますので、これを同じ内容で子ども達には無理なんじゃないかと思えます。

会長

他にございますか。

A 委員

私の小学校時代に遠足、沼里小学校の子どもと一緒にバスで遠足行っていたのですが、現在は学校同士の交流同じ時間を過ごすという事が陸上競技大会とかその程度ではあるのですが、遠足を同じバスでという事は恐らくないのではないかと思うのですが、そういう子ども同士の交流をして経験的なアンケートで、私達がやった沼里小学校と江戸崎小学校が統廃合して一つの学校になるとどうですかと聞いても、毎年顔をあわせていけばそういう過程があれば、それについて小学生でも答えることができるでしょうが、全然交流が無くて答えを得るということは難しいかなと、中学生ですと終わってしまうのでいいかなというようなことが出てくるのではないかと考えます。

会長

二つ否定的なご意見でございますから、何か肯定的なご意見ございますか。

B 委員

今他校との交流というお話がありましたが、現在桜川地区の3つの小学校は3校合同で小学校5年生が宿泊学習をずっと行っております。それから5年生の校外学習、栃木県に工場見学に行くのですがこれも3校合同です。それから4年生の社会科見学も3校合同という事で桜川地区は3校合同で行う行事がかなり多くやっております。他の地区でもそういう可能性があるのではないかと思います。

会長

時代背景があったと思いますが、交流の機会があったという事はそれなりに思い出に残っている部分だと思います。その他ありますか。

D委員

児童生徒対象にアンケートを実施することについては、中学校3年生だと無責任な回答が出てくるのではないかと、確かにそういう結論もあるかと思うのですが、小学校高学年を対象にアンケートを実施するというのは、小学校自身の学校の体験がまだまだ不足しております。その自分の僅かな経験を基にして統廃合についての考えを導き出すということは無理なのではないかと、そういう部分では確かに無責任になる回答が出てくるというのは100%否定できないが、しかしなぜこういうアンケートを実施するのかという事については、生徒に語りかけてその後アンケートをすればかなりの前向きな回答が出されるという事を期待できます。中学生徒なら1・2年生でも、2年生あたりがよいかなどという様な感じがしますが、我々大人が或いは保護者が子どもの立場に立って学校の適正規模を考えると、子どもと親の立場の意識の食い違いがある。そういう風な意味では子ども自身が自分達の生活をどう考えているのか、自分達が生活する場としての学校をどう考えているのかという点では、大いに中学生対象のアンケートを実施するというのも意味があるのではないかと思います。

会長

基本的の中3の生徒に関しては保護者と同じ内容で実施と1つと2の選択肢は、先生と児童で別なアンケート噛み砕いたアンケートを実施してはどうかという問題。皆さんの意見で中3ではなくて中1も中2もやったらいいのではないかと、児童は小学校の高学年からという部分が出てきたら、先生方と児童が一緒になって適正・学校のあるべき姿を設問の内容によっては意識付けになる訳ですけど、それは独自性の内容のアンケートを作らなくてはならないという、稲敷プロパな質問を設定する訳です。それをちゃんと説明しないと、又別の雛形をもって来る訳にはいかないのですから。

事務局

保護者の皆さんに対するアンケートについては、非常に分かりづらいとこれはちょっと理解がなかなか難しいのではないかとというようなことも踏まえて、検討の方をさせていただきたいと思っております。ただ、事務局の意図として保護者の皆さんのアンケートから得る回答が、適正配置についてどのようなお考えを今後お持ちになっているのか、今の現時点で満足しているのか・満足していないのか、或いは今後ますます子どもの数が減っていく中で、自分が保護者として本当にこの環境でよいのかというような回答までを、又そこが推測できるだけの設問によって回答を得たいというような意図がございますが、それと児童に対するアンケートの意図でございますが、これも子どもさんに〇〇と
がよいのではないかと、例えば統合に関してということではなくて稲敷市内でも大規模な学校、大規模とまではいかなくても中規模な学校、それから極力小さな学校とあります。その大規模校に通っている子どもさんと小規模校に通っている子どもさんの意識の違い、或いは仲間が増やしやすいくのかとか、学校は楽しいですかとか、授業は楽しいですかというような設問をして、大規模校と小規模校の子どもさんの感覚の違いをサンプルとして取りたいというようなねらいといたしますか、事務局の意図でございます。

会長

そうなる、桜川の小学校では4・5年生と一緒にやっているのが参考資料になりますね。その小学

校の子ども達の感想を参考資料として設問に加えることも大事になってきます。子ども達は一緒にやってよかったとか、いい経験ができたとかある意味では別のアンケートを作る場合によってはいいサンプルになります。ということは、今日一概にはここで決まらないということですね。サンプルを見て質問の内容をもう一回精査しなければ、児童生徒に理解できるに相応しい様なものや、中学3年生も無責任な回答をしなくなるような設問の設定というものがある訳ですから。同時に、親に難しい内容だと出たのですけれど少し噛み砕いて作成した場合、そこでこのアンケートだったらいいでしょうという論破をしなければなりません。アンケートをするならやはりそれでないと、全保護者に配るなら。ただし、そのアンケートの内容によっては変わってくる事となれば、これは宿題となりますよね。アンケートの内容によって興味を持つか、持たないか、そこを皆さんのご意見をいただきながら、アンケートの内容についてご意見をお聞きしようと思います。

E 委員

沼里小学校に昭和45年は100人、6学年は51人、1・2年、3・4年、5・6年と3つのクラスだったので。私は5・6年の10人と8人の学級を担任したのですが、その時に先ほど遠足の話が出ましたが、結局50人位ですとバス1台で毎年東京に行ったのです。多様な経験が出来ないという事で合同遠足をするようになったのです。その時に子ども達は競技大会や、音楽会で江戸崎小学校に行くような事があったんですけども、子ども達は大勢の所へ行くのと萎縮してしまって態度が硬化してしまうという事で、私の当時の子ども達の印象では大勢の所へ行くのは嫌だということなのです。沢山の子供達と交流できるという親の方か教師の方の願いがあるのですが、実際子ども達は「今日は音楽会で江戸崎小学校に行くのは嫌だ」とか「陸上大会で行くのは嫌だ」とかそういう課題がありました。従いまして、先程の子ども達にアンケートを取るという事はなかなか設問をよく考えると難しいと思うのですが、例えば、「他校の子ども達と一緒に遠足等に行くのはどうですか」という風な事を聞いた時、多分子ども達の中では今は違うかもしれませんが、できれば自分達だけで行きたいという様な考えが出てくるという事が考えられますし、統合という様な事を視野に入れて設問をした場合は、自分達の学校続いた方がいいのではないかという風な事が答えとして予想されます。当時統合してはどうかという意見もでたのですよね、江戸崎小学校で。或いは沼里小に来て貰えないかという事でしたが、親の考えは例え一人になってもいいから学校は残して欲しい。結果3複式になってしまいましたので、親が考えたことは当時の町に要請して先生方を2人配置した、1・2・3年と。という事でこういうアンケートを取ってもおそらく総論では賛成すると思うんです。子ども達の数が少なくなって、ある程度設定が必要となってくるかもしれないですけど、実際に自分の学校が統合とかなった場合には、これはという事でなかなか考えがまとまらないと思いますので、ある程度の適正的なものはどうするかという事でアンケートを取って、その次に踏みこんだ具体的な話を又次の時にやるのがよいのかなという気がしますけれど、いずれにいたしましても子どもにアンケートを取るという事については、子ども達の広い考え方を探るといのは難しいかなという気はします。

それから親の方も問い5の基本的考え方は賛成しても、いざ自分がそういう立場になったら難しいのかなと考えます。それから、問い5の中の「小中学校の配置について基本的な考え方について」という問いは正直難しい感じがします。

会長

ごもっともです。結論いってしまっただけ今は問題提起するのであって、今時代が違うから合併という風な中でどう設問を作るかという部分もあるでしょうし。

とりあえずアンケートの設問を変えて(易しい内容)考えてアンケートを作ることに賛成の方は拳

手願います。

(委員：挙手多数)

会長

賛成多数。

F委員

ちょっといいですか。アンケートの中身で1頁の真ん中辺りに通学区に関するトラえというのが一言入っているのだけど、設問の中には学区の再編制については一つの設問も入っていないのですよね。学区の再編についての親の考えも聞きたいと考えるので設問を「学区の再編はどうですか」というのを、たぶん皆さん反対と答えるでしょうが、どの位強い反対があるのか、無いのかそういう事も知りたいと思うので、通学区の再編制を是非入れてもらいたいと思います。

事務局

内容に加味します。

会長

もう一つ、中学校3年生に関しては設問・内容とかあるでしょうけれど、保護者と同じような質問設定して中学校3年生のみにアンケートを取るという事に関して、賛成の方の挙手を願います。いかがですか。

(挙手なし)

会長

中学校3年生のみカテゴリーのみ保護者と一緒は無しにして、アンケートを噛み砕いたものを中学校3年生までアンケートを取るという形は賛成ですか。中学校3年生にも児童達と同じような、或いは小学校5・6年生・中学校1・2年生に同じような質問を設定して中学校3年生にもそのアンケートを取るという事に賛成の方挙手をお願いいたします。

A委員

アンケートには学年を入れるのが前提になるかと思うのですが。「あなたは何年生ですか」という設問を入れてもらったアンケートであれば。小学校5・6年生と中学校1・2年生と3年生ともう終わりだよという所の差という所が見られると思うのですよ。それを設定するという事であれば。

会長

無記名で学年の設定を設けるなら、そのカテゴリー全部にその噛み砕いたアンケートを実施するのに吝かではないかという方挙手願います。

(委員：挙手多数)

会長

挙手多数。という事でありがとうございました。設問の内容を変えて、保護者に関しては再編についても入れて、児童生徒のアンケートについてはカテゴリー分けを上手くやってそこから検討をするという事でありませうけど、最後ですけれども小学校或いは幼稚園無理なのではございませうね。小学校は何年からがいいですか。小学校1年生からとりますか。

C委員

親の立場からなのではございませうけど、たぶん子ども達そのアンケート持ってきた時に、たぶんうちの小学校の子ども達でも親にこれ聞かすと思うのではございませうよ。「お父さんこれ。こんなのがきたけれど、これはどういう事なの。」と親の意見になっちゃうのではございませうかね。

G委員

学校で取るのが前提ではございませうね。

会長

学校でも取ることが出来ますではございませうね。その何年生からかという質問なのではございませうが。

C委員

このアンケートするのは反対ではございませうけど、たぶんこれを子ども達が持ってきた時に。

会長

内容が違いますではございませうね。

C委員

内容違いますけれど、子どもはそれをたぶん親に聞かすと思うのではございませうよ。5・6年生で単独でなかなか考へてやるのは、難しいのではございませうかねと今思ったのではございませう。

A委員

私が認識していたのは、家に持ち帰らないで学校でアンケートを取らなすという事で認識していたのではございませうけれど。

H委員

私も、確かに親に多分聞かすと思うのではございませう。それでも、親と子で一緒にこの問題を話題にして考へるということは、とても大事なことでございませう。子ども達にとっては自分達の事ではございませうので、「いつの間にか会議で決まらってしまった」、「いつの間にか自分達の学校がよその学校と一緒になってしまった」と、そういう事よりは家でちゃんと考へてこういう事が起きているのだと、しっかり自分達で感じ取らなすっていくことが大事なのではございませうかねと思います。

I委員

そこまで考へるのだらたら、このアンケートでは難しくなってくる。

会長

それは、変えます。さっき言らなすようにそれを噛み砕いたのを考へます。

J 委員

それは、子ども用にといい事ですね。

K 委員

アンケート変えてきてしまうという。

L 委員

今は家に持ち帰る・持ち帰らないという話では。

会長

それは、論判していきましょう。他に意見のある方。

C 委員

この議論で、ふと頭をよぎったのですが例えば保護者のアンケートを取る時に、内容をもうちょっと考えてもらって、例えばこのアンケート子ども達が小学校・中学校・幼稚園でもいいのですけれど、家に持って帰った時に親子で考えられるような設問が入っていたら、それで両方網羅できるのではないかなと。要は親の意見と子どもの意見、おそらく違う考えでいると思うのです。絶対に交わらない意見だと思ひます。そういう部分があるのではないかと思ひます。そういった所を、親の意見・子の意見として親子で話し合ってアンケートを作っていく。そうすれば、親の押し付けの意見ではなく或いは子どもの言葉悪いですけど幼稚な意見とか、そういった事ばかりのアンケート結果にはならない気がします。アンケートの内容をもう一回精査するというちょっと面倒な手間は出てくるかもしれませんが、家に持って帰った時にそれを親子で考えて下さいというアンケートができたら本当に一番良いと思ひます。

会長

多岐に渡ってしまいましたけれど、とりあえず児童と大人、最初の話では先生と児童を対象にアンケート問題を作るといふ話でしたよね。いつの間にか、親と児童に対して親子で考える時間があってもいいのではないかという意見が出てきた訳ですけど。その点についてどちらを実施するのという風になる訳ですよ。子どもたちの意見は純粋無垢・素直な意見をとりたい訳ですよ。素直な意見を。あえて難しい問題提起をする訳ではないでしょうから。親と生徒一緒に考えてという意見でありますから、その事についてご意見のある方。

先生方と一緒にこの問題について学校で話し合ったらいいという意見と、家に持ち帰って親と一緒にこのアンケートを考える意見がいいか、多数決をとりたいと思ひます。

C 委員

ちょっと、いいですか。学校で先生と生徒でアンケートを皆で考える事に仮になったとして、中学校、小学校、幼稚園、保育園が入るかどうかが分かりませんが、皆で考える時間って取れるのでしょうか。ちょっと思っただけですけど。

会長

ちょっと前提で、皆さんの予想で物事判断するといささか前に進まなくなってしまう。「たぶ

んこうになってしまうかもしれない」という意見を前面に出されてしまうと、会議が成立しませんから。とにかくやってみなければ分からないということですから。予想の話はちょっと。折角意見出してくれて申し訳ないのですが、とにかくやってみなくては分からない部分なので、そういう事でそこだけ注意して話を進めていただきたいと思います。

B委員

児童用のアンケート先程事務局の方では、中規模・小規模校の子ども達の感覚の違い・感性の違いを取りたいのだという趣旨でしたよね。そうすると、児童用のアンケートには統廃合という事は考えないで取るという事ですか。

事務局

児童用のアンケートについては統廃合云々というような形、見えるような設問をするつもりはございません。あくまで今現在どういう感覚で子どもさんが過ごしているのか、その違いが、大規模校と小規模校どのように違うのかというのを回答としてサンプルに分けて報告したいと。極端な話大規模校が子どもさんが学校に行きたいと思う数が多かったとか、小規模校の方が学校に行きたい、学校が楽しいと思う子どもさんが多いかとかというようなサンプルが得たいという風な設問を設定してございます。

M委員

ちょっと、よろしいでしょうか。その趣旨で取るのならよろしいのですが、そうするとさっきの親子での話し合いが一切無い訳なのですね。質問アンケート内容が全然違う訳なのですからね。

事務局

事務局といたしましては、保護者に対するアンケートそれから子ども達に対するアンケートというのは、同一ではなくそれぞれの視点からやっぱり違ってくるといような事で、全く別個に考えております。ただ、求められる回答に対する考察は整合性が取れるというようにしていきたいという風に考えてございます。

会長

となると違ってくるわけですね。そうすると、学校で考えるべき設問でもいいかという、親子で話題にしてもらうのは非常に結構だけれど、保護者と子どもで全く別個に考えると設問が違うだろうし、こういう問題を親と家庭でそういう話し合いをするのはいい機会であろうから、それはそれなりにいい方向であろうと思いますから、皆さん異論はなかったわけですね。児童生徒に関しては、学校で親子でと違った設問を設定してそれについて考えるという事でよろしいですか。そういう事で設問の内容が非常に難しかったという部分を出題された方、次回出しっ放しにしないでください。

D委員

よろしいでしょうか。今事務局の方のアンケートについての案を分析していたのですが、これは私の予想なのですが。

会長

予想はだめですよ。

D委員

はい。でも読めるのですよ。

会長

読めてもだめですよ。まずはやってみてから、それから話しましょうよ。

D委員

でもね、ある程度そういう事考えておかないとやる意味がないと思うのです。大規模校児童でも、小規模校の児童でも適応性を皆発揮しておりますから、例えマイナス面を考えても、あなたはどうかと言った場合には、それを置いておいても小規模校の良さを前面に出すとしたら、私は小規模校で満足しているという風な答えが小規模校は小規模校、大規模校は、大規模校出てくるのが読めるのです。だからそういうアンケートはあまり意味が無いのではないかと。だとすれば、もともと私達がやろうと思っていることは、適正配置についてどう考えるのかという事ですから。勿論それを前面に出して、今は急に学校の施設が作られる訳ではないですけど、今はなんとか小規模校で勉強・生活していると、それがもっと大きい学校であなたはどうかという風な設問ではあまり意味が無いのではないかという予想ですね。

会長

設問については、次回来た時にまた論議しますから、そこで又論議してください。

議論が進むと、違ってしまふのはいた仕方ないですが、基本的にはアンケート調査は公開とするという事で解釈してよろしいわけですよ。

事務局

はい。そういう事でございます。

会長

とりあえず1の設問に関しては、概ねそういう方向付けをしたいと思います。後でまとめて皆さんに最後に結びで言いますので。2の設問での所謂市内の幼稚園・小・中学校の現状と分析結果について、後これはアンケートが先の方がいいのか、分析結果の方が先の方がいいのかという部分があるんでしょうけれど、2の設問の説明を求めます。

2) 市内(幼稚園・小・中学校)の現状と分析結果について

会長

一つ確認しておきます。分析結果につきましては、給与等が出てきますよね。これは、基本的には公開はしないという事ですよ。非公開という事で。

事務局

今回の現在の分析結果につきましては、数字が出ておりますのと、個別の学校名もあえて提示させていただいております。第1回にお諮りをさせていただきました様に、所謂利害関係とまではいきませんが、あまり混乱を招くだろうと予想されるものについては、非公開と公開をしないという風な事で、

事務局としては考えさせていただきたいという風に思っておりますので、お諮りをさせていただきたいと思います。

会長

という事務局案でよろしいですか。

(異議なしの声)

- 「市内(幼稚園・小・中学校)の現状と分析結果について」 -
稲敷市情報公開条例第9条の規程に基づき非公開とする。

会長

他にご意見ありますか。

いずれにしても、ある程度どこかにある部分は流してはいけないという部分があると思うのですよ。皆さんを参集した上でご議論願いたいと思っております。

教育総務課だけの事案ではないと思うのですよ。これは各課の例えばスクールバスという事になれば総務部の方になるでしょうし、あるいは通学路の問題になれば産業経済の方になるだろうし、防犯とか安心安全部分に関しては市民生活部の方になります。各課各部横断的な議論を設定していかなくはなかなか位置付できませんので、敢えて提言申し上げます。庁議に諮っていただいて、各部長にもオブザーバーで庁議に持って行って貰って、教育総務課ばかりではなくこの問題はすべてのセクションにあるものです。提案していただければと思います。よろしくお願いいたします。

事務局

分かりました。

会長

やはり、他のところでも同じように合併の統廃合の問題が増えています。大変な事案になります。皆さんのお知恵を拝借しながら、これから長い議論かもしれませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

次回の日にちを提案願います。

事務局

20日前後位を目安に考えてございますので、逆に委員さん方に20日前後の都合のいい日にちを設定していただければ事務局としてはそれに合わせる様にいたします。

会長

25日の教育委員会までにはやらなくてはならないでしょう。25日以降は無いて事でしょう。

事務局

25日過ぎても皆さんの都合が悪い場合にはやむをえないと思いますので。

会長

今日金曜日ですよね。皆さん金曜日は都合が良いのですか。いづれにしても、土曜・日曜はだめでしょうから。

C委員

日にちは良いのですが、曜日をある程度。

会長

曜日設定な。曜日設定でやると大体ね。例えば19日が金曜日ですから。

D委員

よろしいですか、一点。今日のこの会合ですが、前回の話し合いに基づいてこの時間帯に開かれた訳ですが、この時間帯大変都合のよい方もいる訳ですが、大変負担感を感じて参加している方も何人かいるかと、ですから毎回この時間帯で固定するというのは無しにして、この時間帯にやる時もあると、別の時間帯にして貰った方が参加しやすいという方もいらっしゃると思いますので、よろしくをお願いします。

会長

前段で話しましたように、昼間なら昼間でもよろしいですよと、それは皆さんのご意見の中でそれは逐一変えることができますから、皆さん夜がいいという事で夜になったのですから。

19日でよろしいでしょうか。

(委員から賛同の声)

会長

19日ということで一つよろしくお願ひいたします。とりあえず次回は今日の時間帯で、次の時間帯を決める時に都合が悪いという皆さんの意見があれば、又昼間の時間帯にシフトしながら個々に考えていきますから、第3回目は10月19日で時間帯は今日の時間でよろしいでしょうか。

18時30分でよろしいですか。

(委員から賛同の声)

A委員

よろしいですか。前回事務局の方から部会の件について提案があったと思うのですが。

事務局

今日も色々ご議論いただきまして、特にアンケート調査については今ちょっと事務局で話したんですけど、出来れば部会的なもので我々事務局サイドでご提案するのではなくて、なにか部会で参画いただけるのであれば、皆様と一緒にこのアンケートを作った方が、より良いアンケートというものが出来るのかなという風に感じましたので、ご提言申し上げました。

会長

ということは部会を開くという事は、アンケートがかなり遅れるという事ですね。19日前に集ま

ってやるのですか。

アンケートについて。アンケートの調査の設問にぜひ参加したい方いらっしゃいますか。どうぞ挙手願います。希望する方はいらっしゃいますか。

(挙手する委員なし。)

会長

中立な目で事務方雛形挙げてもらいましょう。それでまた皆さんあればという形によろしいですか。他に何かありますか。

長時間に渡り夜分遅くまでご苦勞様でございました。これから皆さんの色々なご意向を賜りながら、詰めるまで相当時間がかかるかと思えますけれど、検討しながら統合の方進めて行きたいと思えます。よろしくお願ひいたします。ご苦勞様でした。

閉 会